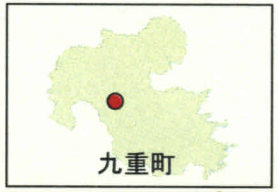
九重町地域交通協議会

平成20年3月21日設置
平成21年3月10日連携計画策定



概　要

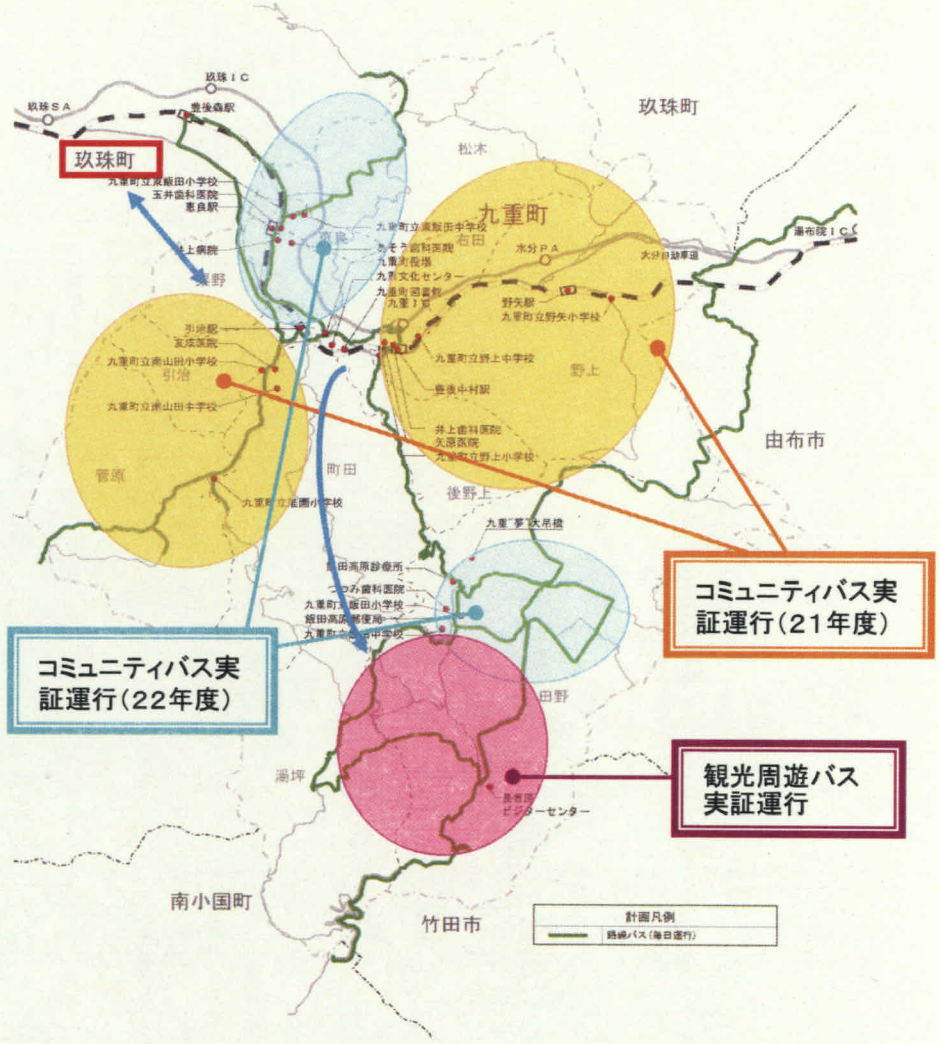
広大な行政面積を有し、交通空白地帯が存在する町内において生活交通の確保、また観光客にとっての交通利便性を高めるため、コミュニティバス、観光周遊バスの実証運行、総合交通マップの作成等情報提供を行う。

○コミュニティバスの実証運行

交通空白地域における移動利便性の向上のため、町所有の車両によるコミュニティバスを導入する社会実験を実施。21年度は野上地区・南山田地区、22年度は東飯田地区、飯田地区に導入。JR豊後中村駅、役場を乗り継ぎ拠点として、各地域とも週に2日程度の運行を予定。

○観光周遊バスの実証運行

主要な観光施設が集中する飯田地区において、観光客の公共交通による移動利便性を確保するため、観光周遊バスを導入する社会実験を実施。飯田高原の主要な観光施設に停車し、可能な限り、パークアンドライドの推進を図る。

○公共交通機関の運行情報の発信

複数の公共交通機関に関する運行ルート、ダイヤ、主要な拠点間の運賃等が、1枚で把握可能な「公共交通マップ」を作成。町内全戸への配布、主要施設への設置およびホームページ上における公開、町の自主放送チャンネル（ケーブルテレビ）のテロップを利用した情報の発信を行う。